

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

総平均法による原価法を採用。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・定額法によっている。

②無形固定資産・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

法人税法施行令第96条に基づき、当該金銭債権の額の100分の50に相当する金額を計上。

②退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上。

③役員退職慰労引当金

役員の退職慰労給付に備えるため、当期末における退職慰労給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

ファイナンスリース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、平成26年4月1日以降の契約分については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理により、平成26年3月31日以前の契約分については、通常の賃貸借処理に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
長期定期預金	356,484,200	0	0	356,484,200
投資有価証券	128,515,800	0	0	128,515,800
小計	485,000,000	0	0	485,000,000
特定資産				
貸倒引当積立預金	500,000,000	0	0	500,000,000
役員退職慰労引当積立預金	18,710,700	5,226,750	0	23,937,450
退職給付引当積立預金	34,593,289	5,681,495	0	40,274,784
小計	553,303,989	10,908,245	0	564,212,234
合計	1,038,303,989	10,908,245	0	1,049,212,234

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
長期定期預金	356,484,200	356,484,200	0	0
投資有価証券	128,515,800	128,515,800	0	0
小計	485,000,000	485,000,000	0	0
特定資産				
貸倒引当積立預金	500,000,000	0	500,000,000	0
役員退職慰労引当積立預金	23,937,450	0	0	23,937,450
退職給付引当積立預金	40,274,784	0	0	40,274,784
小計	564,212,234	0	500,000,000	64,212,234
合計	1,049,212,234	485,000,000	500,000,000	64,212,234

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース有形固定資産	2,396,957,605	1,170,582,567	1,226,375,038
リース無形固定資産	318,889,876	62,341,406	256,548,470
ソフトウェア	78,912,950	75,639,310	3,273,640
構築物	22,867,866	7,845,511	15,022,355
機械装置	229,287,368	174,300,475	54,986,893
器具備品	11,546,852	10,814,188	732,664
合計	3,058,462,517	1,501,523,457	1,556,939,060

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金（リース料）	100,572,338	53,669,729	46,902,609
未収金（リース料以外）	53,518,748	0	53,518,748
合計	154,091,086	53,669,729	100,421,357

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債	128,515,800	102,942,360	-25,573,440
合計	128,515,800	102,942,360	-25,573,440

7. (1) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は以下のとおりである。
リース契約の補助金は、初年度に収益として一括で計上しております。
なお、CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業及び環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業の大型LNGトラックについては、減価償却期間に合わせて毎年度計上します。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業	環境省	0	4,320,000	4,320,000	0
〃	公社)全日本トラック協会	0	1,164,000	1,164,000	0
〃	東京トラック協会他	0	881,000	881,000	0
〃	東京都・他自治体	0	100,000	100,000	0
低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業	環境省	0	115,731,130	115,731,130	0
社会変革と物流脱炭素化促進事業	環境省	0	696,005	696,005	0
商用車の電動化促進事業	環境省	0	278,267,848	278,267,848	0
車両動態管理システム導入支援事業	経済産業省	0	366,740,000	366,740,000	0
CO2排出削減対策強化誘導型技術開発実証事業	環境省	33,827,083	0	15,612,500	18,214,583
環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業	環境省・公社)全日本トラック協会	19,161,684	0	4,284,600	14,877,084
合計		52,988,767	767,899,983	787,797,083	33,091,667

- (2) 補助金交付業務を実質的に代行する目的で受入れた補助金

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業	環境省	0	2,829,050,000	2,829,050,000	0
社会変革と物流脱炭素化促進事業	環境省	0	73,347,000	73,347,000	0
商用車の電動化促進事業	環境省	0	12,953,665,000	12,953,665,000	0
合計		0	15,856,062,000	15,856,062,000	0

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額 ・指定正味財産に受入れた、LNGスタンド建設に係る補助金及び環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業の大型LNGトラックに係る補助金を、毎年度経常的に収益として受取る。	19,897,100